

伊勢・三河湾貧酸素情報 (R3-8号)

令和3年8月12日

愛知県水産試験場 漁場環境研究部

令和3年8月11日に三河湾において貧酸素水塊の調査を実施しました。その結果は以下のとおりです。

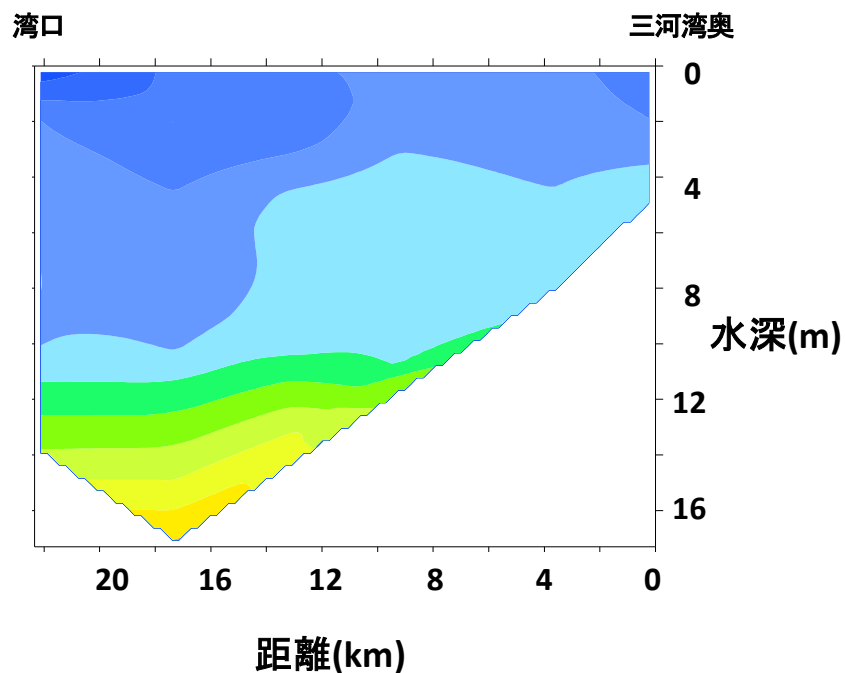
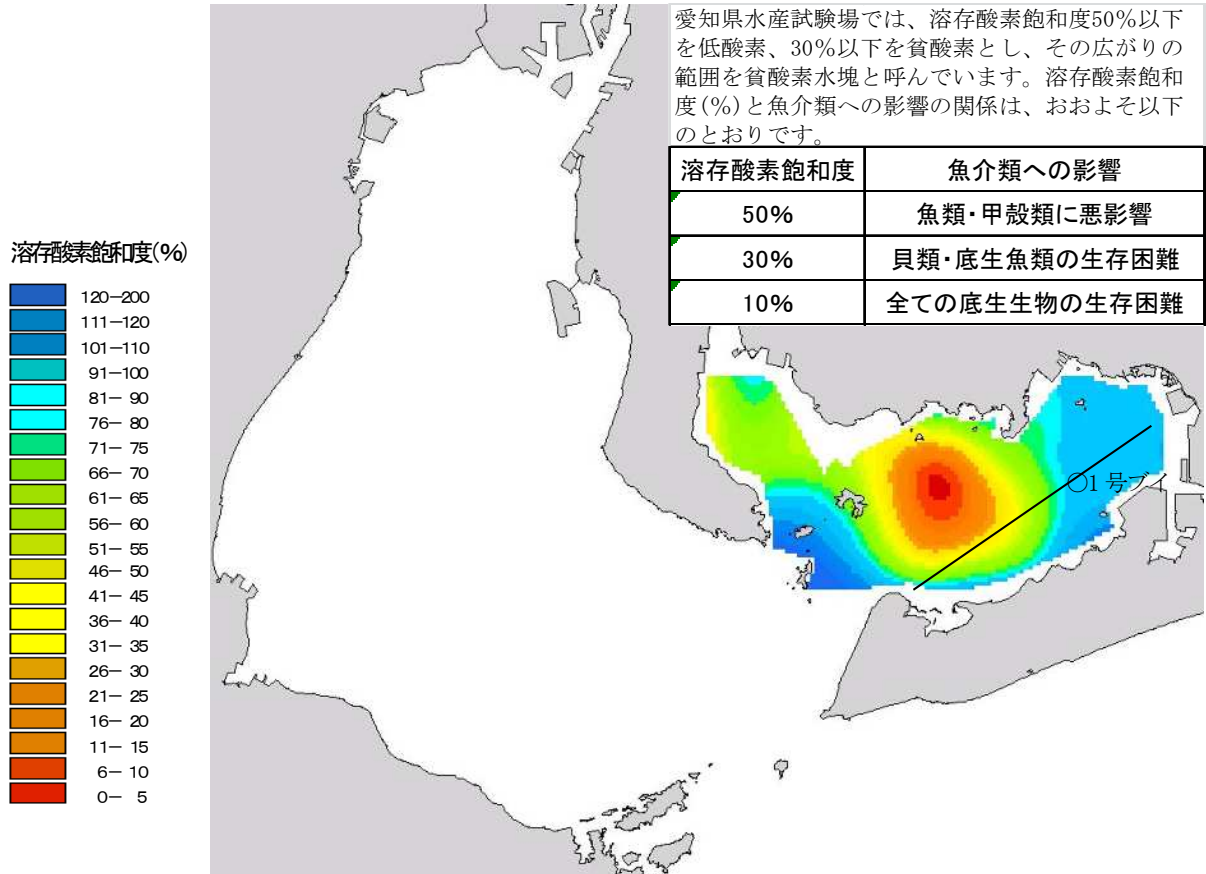


図1 三河湾 (8月11日) 底層の溶存酸素飽和度の分布 (上図) 及び上図直線部分の鉛直分布 (下図) (愛知県「へいわ」調査)

三河湾

8月11日の調査結果を図1に示しました。渥美湾の西側（吉良～幡豆沖）で溶存酸素飽和度30%以下の貧酸素水塊が確認されました。一方で、渥美湾湾奥、知多湾においては貧酸素水塊が見られませんでした。今月上旬と比べ貧酸素水塊が縮小していました（図3）。

三河湾海況自動観測ブイ（蒲郡沖、1号ブイ）のデータを見ると、8月3日以降、表層から中層または底層にかけて溶存酸素飽和度が一様になっている状況が確認されました。3日は風速10m/s以上の南東風、7日は台風10号に伴う風速10m/s前後の南東風が観測されており、海水の上下混合によって貧酸素水塊が縮小し、さらに9日に観測された台風9号に伴う風速15m/s以上の南風によって貧酸素水塊が解消されたと考えられます。

8月12日以降しばらくは降雨の予報となっていることから、今後、表層・底層間の塩分差が生じ、成層化が進み、再び貧酸素水塊が発生することが予想されます。

表2 調査時の水温・塩分

	水温(°C)	塩分
表層	27.4~30.1	25.7~30.7
底層	25.0~27.5	30.3~32.2

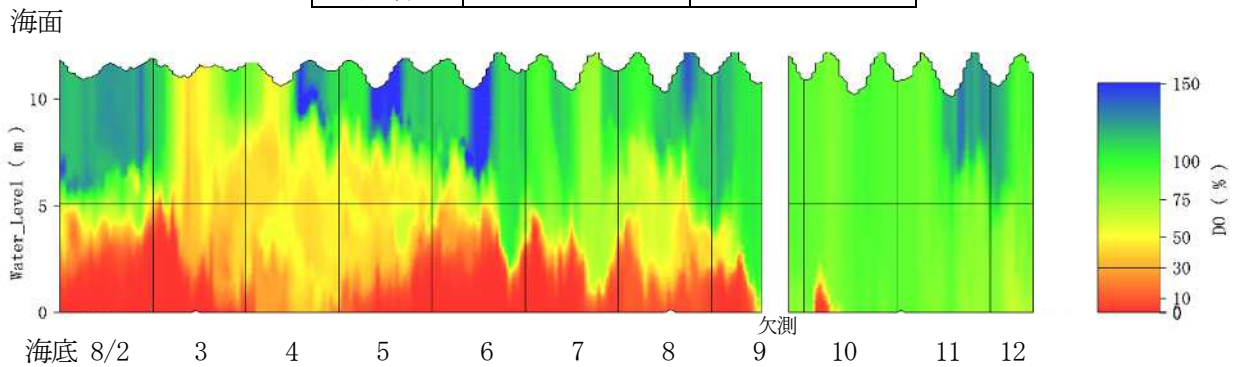


図2 溶存酸素飽和度（DO）の経時変化（三河湾海況自動観測ブイ1号ブイ）

参考

前回調査時の伊勢湾、三河湾底層の溶存酸素状況

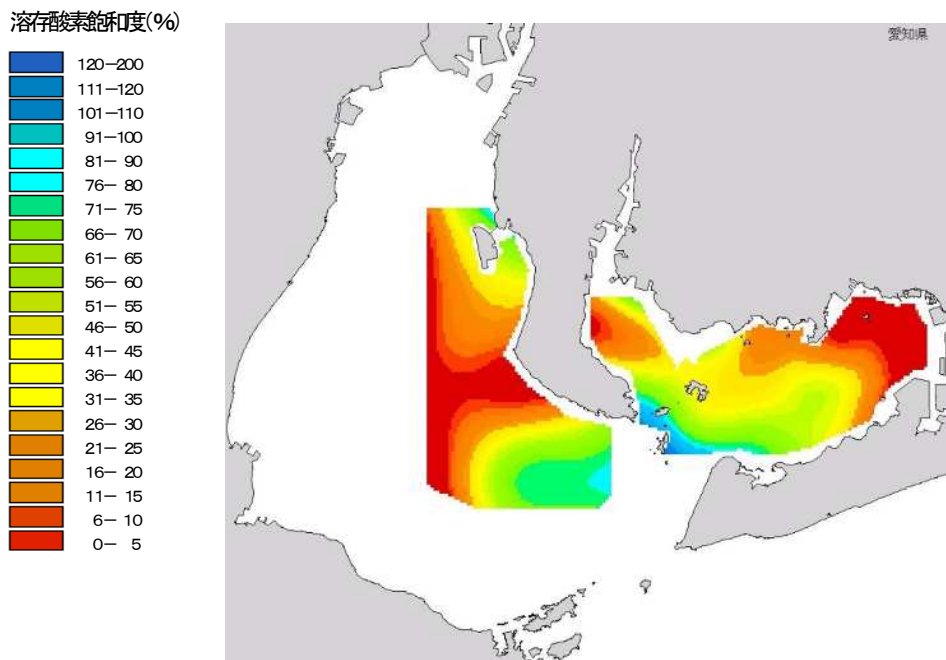


図3 伊勢湾（8月2日）、三河湾（8月4、5日）